

長野県 PR キャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

ANPI NEWS
アンピ・ニュース

公益財団法人長野県国際化協会
Association of Nagano Pref. For Internationalization
2026年 秋号

9/16　2026 年度長野県 EU 協会通常総会 記念講演会が開催されました





◎長野県 EU 協会総会に出席し、長野三菱電機機器販売株式会社取締役会長の折井正明氏による「私のパリ留学−EU 創立前夜−」と題した講演が行われました。
1987 年から 1993 年までパリに滞在した折井氏は、EU 創立前夜のヨーロッパ社会や国際都市パリの姿について紹介。
当時のパリでは北アフリカや中国、トルコ、アフリカ諸国など多様な背景を持つ人々が共に暮らし、国境を越えた交流が進んでいました。
その後、移民問題や社会的分断が課題となっている現状を示し、講演を通じて、多文化共生は一度実現すれば終わりではなく、外国人を地域社会の一員として迎え、その力を生かしながら共に地域を築いていくことの重要性を改めて認識する貴重な機会となりました。

10/16 長野県日中友好協会 創立 70 周年祝賀会が開催されました

◎1956 年の設立以来、長年にわたり日中両国の友好交流を支えてこられた関係者の方々への感謝と共に、歴代役員や会員の尽力により積み重ねられてきた交流の歩みが紹介され、青少年交流やスポーツ交流、満蒙開拓の歴史を学ぶ平和学習など、多彩な活動が地域に根差して継続されてきたことを改めて知る機会となりました。
そして来賓の皆様からは、国際情勢が複雑化する今こそ対話と交流を重ね相互理解と信頼を育む重要性についてお話がありました。
70 年にわたり培われた友好の絆を次世代へ引き継ぎ、日中両国のより良い関係と平和な未来につなげていくことの大切さを実感した意義深い祝賀会でした。









11/1　中国残留邦人等への理解を深める集い in 長野が開催されました

◎首都圏中国帰国者支援・交流センター主催の「中国残留邦人等への理解を深める集い in 長野」がホクト文化ホールで開催されました。
始めに満蒙開拓平和記念館の寺沢秀文館長から、満蒙開拓の歴史や中国残留孤児・婦人が生まれた背景について講演があり、開拓者だけでなく土地を追われた中国の人々の視点からも歴史を捉える大切さを学びました。続いて、中国で家族と離れ離れになりながら生き抜き、帰国後も言葉や生活習慣の違いに苦労された語り部による体験談、そして発表者による座談会では、戦争体験を次世代へ伝えることの難しさと重要性が語られました。体験者の高齢化が進む中、話を聞いた私たち一人ひとりが「語り継ぐ担い手」となり、過去の歴史に向き合いながら平和の尊さを次世代へつないでいくことの大切さを改めて実感する機会となりました。









10/25 令和８年度災害多言語支援センター設置運営訓練と防災講座を開催

◎大町市で、令和8年度長野県総合防災訓練並びに大町市防災訓練に合わせて、災害多言語支援センター設置運営訓練と外国人住民向け防災講座を行いました。
訓練では、NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会の土井佳彦さんと村上典子さんを講師にお招きし、災害情報の整理や共有、避難所の状況把握、外国人住民や観光客へ多言語による情報提供など、実際の災害を想定した訓練を行いました。
防災講座では在住の外国人住民の皆さんにお集まりいただき、災害時の行動や避難所での過ごし方、AR による災害の疑似体験を行いました。
そして、避難所巡回の聞取りでは、近年大町市ではインバウンドの観光客が多いことから、駅、観光地、宿泊地などにおける旅行者への対応を想定した訓練を行いました。
最後に講師から、災害時には想定どおりにいかないことを前提に、できることから対応する体制づくりが重要と講評をいただきました。また、やさしい日本語や翻訳アプリの活用、必要な情報の多言語化と事前準備、通信が途絶えた場合の代替手段など、実践的な助言をいただきました。
いつ起こるかわからない有事に備え、協力体制を築きながら安心安全の街づくり、多文化共生社会に繋がることを願ってやみません。



災害多言語支援センター設置運営訓練、防災講座



避難所巡回コミュニケーション訓練

各地の国際交流イベントに参加、ANPI 広報と募金活動を行いました

10/4 あづみの国際 DAY!2026



10/31 ワールドフェスタ in 長野 2026

